

あなたが右に行くにも左に行くにも、
 あなたの耳はうしろから
 「これが道だ。これに歩め」と言うことばを聞く。

(イザヤ 30:21)

皆さん、お元気でしょうか。オレンジ色の柿やみかん、紫のぶどう、そして、赤や黄色のリンゴと秋真っ盛りの日本から、ロサンゼルスに戻りました。こちらは、連日35度から時に39度の真夏で、かつてない猛暑です。甘くてみずみずしい冷たいスイカが美味しい季節へタイムスリップした感じで、もう一度、真夏が体験できて喜んでいきます。



初企画・400m走に挑む！（第5回チア・オリンピックにて）

皆さんにお祈りいただいた第5回チア・オリンピックは、お陰様で175名余りの参加者の皆さんと、とても祝福された1日を過ごせました。前日までの雨が上がり、さわやかな青空と「約束の虹」がかかる中でキリストを見上げ、全力を尽くし、とても楽しい時間でした。

5月以降、「超党派フリースクール等議員連盟」によって秋の国会提出を目指して準備されていた「多様な教育機会確保法案」は、9月国会への提出が断念となり、来年以降の国会提出に向けて審議が重ねられることとなりました。これまでのニュースレターでお伝えしてきました通り、本法案はいくつか課題があり、チア・にっぽんとしての試案を3度提案し、議員連盟の皆さんが4ヶ所を修正くださる等、進んでいました。しかし、まだ課題が残っており、慎重な審議が必要では、と伝えていました。ますます良き法案へと成長していくことを祈り、次期国会への私たちの準備も進めているところです。神様の知恵や思慮に満ちた対応ができるように、引き続き、お祈りいただければ幸いです。

今月初旬、11月に予定していた白馬セミナーの順延を決定し、まずホームページ、フェイスブック等で連絡させていただきました。今は、10年後、20年後も影響してくるであろう、上記、法案の対応にじっくりエネルギーや時間をかけて丁寧に臨み、白馬は来年2016年に向けて今から準備を充実させて開催しようという結論です。16年目にして初めての休止です。予定変更は私たちの力不足で、大変申し訳ないです。順延の経緯は下記に記します。もし導かれましたら、11月26日～28日は、ご家族、ご友人の皆さんで、法案はもちろん、今後のホームスクーリング展開への祝福について特別に祈っていただく時を持っていただければ、と思っています。

様々、自分の力不足を感じる日々です。しかし、神様の恵みとあわれみの中、神様に知恵の心、判断する心を求め続け、神様以外は恐れなくて歩めることの素晴らしさを感じる日々です。神様の計画は成就し、そして必ず神様にある実が育っていき、キリストの福音が広がっていくことを教えられています。皆さんの上にますますの祝福が臨まれますように、心から祈っています。

チア・にっぽん代表 稲葉 寛夫

白馬セミナー順延の経緯

10月3日、今年の「白馬セミナー」の順延を決定しました。2016年に、例年通り、コンベンション、白馬セミナーを充実させて開催しようという結論です。16年目にして初めての秋のカンファレンスの休止です。私たちの力不足で、大変申し訳ないです。

順延に至った経緯は、以下の通りです。これまで15年、秋のセミナーを行ってきた同じ週末に、フランクリン・グラハム氏の東京大会が重なり、日ごろ、チアのチルドレンミニストーリーを手伝ってくれている仙台のチームが協力を頼まれたため、チームを半分に分けて参加する案が検討されました。チアとしては「今年はフランクリン氏を応援しよう」と、白馬セミナー開催日を1週間ずらしました。それは、これまでにニュースレター等で皆さんにお伝えした通りです。しかし、その後、思わぬ展開が待っていました。

海外からの白馬講師陣ですが、幸いにしてチア・につぼんの皆さんを助けたいとの講師陣の層は厚く、例年は出演交渉に困ることはありませんでした。しかし、今年は1週間ずらしたことで感謝祭と重なり、一転して講師依頼で苦戦することとなりました。

御存じのとおり、アメリカでは、感謝祭は家

族や孫のほとんどが祖父母の家に集まって感謝祭ディナーを食べる、場合によってはクリスマス以上の意味ある、家族の絆を深める大切な週です。その時期を意識はしていましたが、忙しさの中で熟考できないまま、1週間ずらすスケジュールを決定してしまいました。それは私のミスでした。

日ごろから日本に行きたいとの心を伝えてくれていた数人の候補者に依頼していましたが、日本を助けたいとの思いの中で熟慮され、ご家族と祈られ、相談してくださった上で、辞退ということが続きました。

幸いにも2人の著名な候補者が、ご家族との相談を重ねた上で「来日、OK!」の連絡を9月末にくださいました（最近、さらに1人、OKとの返信をくれ、3人の皆さんになりました）。しかし、その時点まで、パンフレット作り、その他のスケジュールが待機中だったので、例年に比べ大幅に遅れることになりました。途中、「いよいよ、日本の国内だけで講師陣を編成する時が来たのかな」とか、「パンフ等、遅くなったために来られない皆さんにはお詫びし、あとは神様に委ね、集まれる皆さんで集まったら、一層、家族的な集会になってさらに良いかも」とも思いました。

その一方での懸念は、現在編集集中の「チア・マガジン43号」での50ページ余りの「国会特集」です。お知らせしている通り、この春以降、「多



台東リバーサイド陸上競技場にて

紺碧の空へ！
ジャベリックスロー（やり投げ）



様な教育法案」に関して、国会議員や文科省の皆さんへの個人面談、チアからの提案活動を続けています。今回のマガジンでは初めて、30回以上の面談のやり取りを記載し、ドキュメントスタイルで詳報しようと考えていました。この法案は、9月提出→可決は断念となりました。しかし今後、審議が継続され、次回の1月の国会に提出される予定です。

法案はホームスクーリング行政に関わる新しいステージで、その対応のために、知恵と配慮と慎重さを祈り求めてきたものでした。法案には、まだ私たちが懸念しているポイントも残っています。そのため、今回の特集も、今後の審議に効果的なレポートになるように、また論理としては対峙している議員の皆さんにも礼を尽くし、人間関係としては良き信頼関係を一層、築けるようにと祈ってきました。また、今後、チア・メンバーのホームスクーラー、チャーチスクーラーの皆さんが面談していく教育委員会の皆さんの多くが、読まれる資料となる側面もあり、理解を深めてもらえ、長く、効果的に用いられるようにと祈って進めている特集でした。そのためには、執筆には十分時間をかける必要もあり、また、執筆後、各議員の皆さんらと原稿内容の確認等、丁寧に行いたいとの思いがありました。これまでNHKからチアに至るまで、取材した内容を文章化して発表し

た時に、思いがけないところで関係者を傷つけたり、事実と異なったりすることがないように、深い取材や構成、慎重な確認作業が必要であることを訓練されてきた側面があります。

もし白馬セミナーを実施するとなると、スケジュール的にもすべて急いで進めることが必要になり、マガジンの特集を含め、主に委ねてスピードアップして進めていく必要もあります。「急ぎ足の者はつまずく」との御言葉もかすめますし、一方、すべて完全主義でやる必要はなく、白馬を多くの皆さんが待望してくださり、既にお申込み等もいただいているので、全面的に神様に委ねて実行するべきでは……という思いも与えられたりで、悩むところでした。

二つに分かれた20数名の意見 神様はどちらも祝福する

関係者20数名に聞きましたが、「意見なし」という棄権者を除くと、文字通り10対10で、半々の答えが返ってきました。どのコメントも示唆に富み、また、深い感謝を覚えるものでした。以下、そのエッセンスです。

Aさん 「来年やるのでいいのでは。稲葉さんが言った『急ぎ足の者はつまずく』を聞くとね、反



対に『集まるのをやめてはいけない』という聖書のことばも思うな（笑）。年2回、3回と集まることで励まされる。そうした励ましの必要な家族も全国に多い。そのあたりも考え、今年は白馬の期間を、家族の中で、あるいは、各地で集まれる人は集まり、特別な祈り会を開催するよう励ましてみては？ チアがリードすると、またオフィスが大変になって、それなら白馬でやった方が良かったとなるから、各地で自由に……と薦めては？」

Bさん「この時点でやめたら稲葉さんに非難ゴーゴーだよ。白馬に行くために、サマーキャンプに行かないで貯金してました、今度白馬で会いましょうと、既に僕とやり取りしてる人たち、たくさんいるよ。今、一緒に働いているCさんとは白馬のお風呂で午前2時まで話して仲良くなったんだよ。時間作って、マガジンにいい文章書こうとしなくていいよ」

Dさん「やはり、チアは何があっても、やってくれと思うし、やってほしい。がっかりする人も多いのでは。僕は白馬の親子ゲームでケガをしてBさんに病院に連れて行ってもらって仲良くなった。ちょうど、丸森に引っ越すことも考え始めていたタイミングで、今、引っ越して10数年。そ

のように人生に大きなインパクトを与えた白馬なので、やってほしい」「（稲葉）それはうれしいけど、最近、Dさんは白馬に来ていないよね。今年やるとすれば参加することを祈られますか（^_^;）？ やれやれと言って、僕は行かないけどね……だと、ちょっと……」「（Dさん）そうですね。今年は、参加の方向で真剣に考えますね」

Eさん（事情は説明してない中のコメント）「今年は、絶対白馬に行く。これまで1回も行けなかった。今年は、絶対行く」

Fさん「延期していいと思う。そうすれば、（チルミニを手伝っている）伝道チームのみんなに余裕ができて、少し楽になる。私も韓国から2ヶ月手伝ってほしいと依頼をいただいていた、白馬があるから白馬優先…と思ってたけど、行ける。でもこれまで15年余り、白馬を続けて来たし、やるのであれば白馬を優先する。ま、どちらでも、状況を詳しく知っているのは、稲葉さんだから、稲葉さんが良いように決めてください。ポールさんは、せつ子さんと結婚するかどうかでかなり悩んだ。『伝道に命をかける』と決心していて、その上で『結婚』はプラスになるか、障害になるか、悩んだ。尊敬する人に何人も意見を聞いて歩いた。

みんなの意見は様々だった。そうした中でポールさんの結論は、『神様は、どちらか決めていない。どちらも祝福する。どちらでも自分が選んだ方を祝福する』ということではないだろうか……ということだった。それでポールさんは、『それなら、結婚する』ということと結婚した。どちらも祝福されると思う」

Gさん「うーん。今回、意見ない」

Hさん（白馬講演予定者）「意見ないです。どちらでも大丈夫」

Iさん「僕は延期していいと思う。ゆとりが必要。そして、クオリティの高いサービスを提供した方が長い目でいいと思う」

Jさん「長野のKさんから白馬で会いたいと昨日電話が来た。Kさんは、90歳のお父さんを介護して、看護師で忙しいから、こっちには来られない。私がKさんの家に行けば、準備とか迷惑になるから、白馬は最高。コンベンションは東京だから、彼女は遠くて来れないと思う」

Lさん「ここまで来たら、やるべきだと思う。神様に委ねて。いろんな方が既に申し込んでるのだし。祈ってきた基調講演者も、与えられたのだし。

みんなの励ましになると思う」

Mさん「やるべきかどうかは分からない。ただし、そこまで国会に時間やエネルギーを費やす必要があるのか？それが神様のご計画とは思えない。一方、2つやるとしたら、稲葉さんはその2つに没頭せざるを得なくなり、家庭をカバーできなくなるのでは？」

Nさん「やるべきだと思う。あれだけ多くの皆さんが励まされたり、チャレンジを受けたりしていて、この機会を閉じる理由が分からない。国会も、これまでは良かったとしても、今後は、これまでのような力を注ぐべきかどうか、吟味するタイミングが来てるのでは。また、もし法案等、今後のために皆が理解を深めていく必要があるのであれば、白馬に集まるべきで、順延するのは逆では」

Oさん「やはり、チアの企画は、クオリティの高さゆえに、参加者の満足度が高い。スタッフが疲れきっていたり、余裕のない準備で臨んでは、クオリティ低下のリスクがある」

Pさん「継続は力。祈ってきた講師も与えられたのだし、これまでの15回の白馬のインパクトはとて大きかった。国会の動きは、ホームスクーリングムーブメントの生命線にも関わる。国会の



対応も行いつつ、今年も白馬ができたらすごい。もし、十分なスタッフの体制と準備の時間やエネルギーがあればできるだろう。個人的には、今年は順延して、国会の対応にベストを尽くし、並行して来年のコンベンション・白馬企画の準備に専念した方が良いと思う。既に、来年の講師陣がいつもの倍の人数で、交渉成立しているのだし」

Qさん「白馬で満足しなかった参加者はどれだけいたろうか。ほとんどの人の満足度が、とても高かった。これは主に委ねて実施すべき」

Rさん「来年、一層、偉大なコンベンション、白馬セミナーを展開した方が、参加者の皆さんを励ますことができる。励ましとチャレンジのチアの原点に立つべき」

Sさん「どちらの道でも祝福があるとは、その通りだと思う。ただし、一度、『やる』と決めて皆に案内した以上、迷うくらいならば、不完全な内容であっても、『やる』のが筋と思う」

Tさん「国会や文科省は大事だと思う。丁寧に行く必要があると思う。フランクリン氏への協力や、国会の状況を伝えるなら、理解が得られると思うよ」

こうした率直な声が寄せられました。どのコメントも「なるほど!」と思わされる声でした。また、それだけ皆さんが白馬やチアのことを大切に思ってくださっていることを改めて伺うことになり、とても励まされました。

今回、感謝祭ウィークにも関わらず、来日OKとしてくださったアメリカからの3人の講師陣は、状況を「理解します。今年でも来年でもOK」とのことでした。感謝祭でも来てくれるとのご返事には、日本のチャーチ&ホームスクーラーを助けたいとの熱い心、そして、ご家族、お孫さんたちと相談し、合意を得た上での重い決心と思います。その上で、私たちが順延を決めた場合には、1人



は来年のチア・コンベンションに、もうひとつ方は、来年の白馬にまわってもいいとおっしゃってください、すごい状況ともなりました。

会場の「ホテルグリーンプラザ白馬」の皆さんも、800人以上収容できるホテルを、全館貸し切りで待っていただきました。その週は、ホテルの改装等の週にして休館日であったものを、14回目の開催のために貸し切りにしてくださっていたのです。その中での順延の相談となりましたが、とてもサポータータイプにご理解くださいました。「法案の件は、ニュースレターに書いてあった件ですね。読んでました」とのことでした。ホテルの皆さんとは14年余りの絆ですが、とても前向きに受け止めてくださり、また、NLを読んでくださっていたことを知り、うれしかったです。そしてすぐに2016年の予約をOKくださいました。

こうした様々な良きアドバイスを聴きつつ、祈っていく中で、結論としては、私も、これはどちらを選んでも、きっと神様は祝福して下さるでしょう、と確信するに至りました。それで新しいステージである国会・文科省関連の記事を丁寧に、また、よく考えて効果的に進めたいとの思いがあり、その決断をさせていただいた次第です。

また、関係者の皆さんからのご意見の中で、「11月26日～28日のどこかをご家族、ご友人での特別な祈りの時としてくださるようお伝えしたら？」とのご提案もいただきました。「集まることをやめてはならない」「ふたりでも三人でも、集まる所にはわたしもいる」という聖書のことばも心に響き、とても良きご提案と思いました。それで各地の皆さんに、それぞれご家族や近くのご友人と共に、今年はスタイルを新たに方法で、この3日間のどこかを祈りの時としてくださったらいいかなと思ひ、お伝えしようと思ひました。

そして、来年のチア・コンベンション、白馬はそれぞれ2人以上の基調講演者をアメリカから迎え、一層充実した内容と準備をもって迎えられる予定です。

ホームスクーリングムーブメントの本質を1980年代初期から見つめ続け、分析し、どのようにしたら祝福されるホームスクーリングになるかを見つめ、提案し続けたブライアン・レイ博士。

チア・にっぽんの初期からのブレインで、今回の法案の行方についても、様々な情報と祈りと日本への愛情を捧げ、また具体的な懸念事項やその対策をまとめてくださったジュリー・ホーンさん。

イスラエル・ウェインさんは、2008年コンベンションで大好評のスピーカーです。

マイク・ドネリー HSLDA 弁護士は、国際担当弁

護士として、ジュリーさんと共に、初期段階から知恵と対応策を出してくれ、来秋、初来日です。

日程・主講師は下記の通りです。

ぜひ、今からスケジュールを空けておいてください。また、充実したコンベンションや白馬セミナーとなるように、お祈りのほど、どうぞよろしくお祈りします。

いずれにせよ、自分の力不足と未熟さを思っています。既に参加を決め、待望していただきつつ皆さんを始め、関係者の皆さんに、改めて心からお詫びする次第です。もしご質問、コメント等ありましたら、ぜひご遠慮なく、ざっくばらんにお知らせください。今回の決断に関わらず、神様のあわれみで、今後ともぜひよろしくお祈りします。

マガジン43号の執筆、編集が進んでいます。良き知恵や思慮が与えられるよう、特にお祈りください。

第5回チア・オリンピック

キリストを喜ばせるために！

5年目を迎えたチア・オリンピック、175名の参加者の皆さんと共に、とても感謝で、楽しく、神様から教えられる一日を終えることができました。

長野から、小林さん家族、里佳さんと3人のお嬢さんたち（22歳から10歳）が参加され、「楽しかった！」と話してくれたこともうれしかったです。8月4日に召天された御主人の功治さんは「日曜日、教会から一足先に自宅に帰って、ストーブをつけ、温めて待っていてくれるような主人でし

【チア・コンベンション 2016】

■講師：ブライアン・レイ博士
ジュリー・ホーン女史

■日時：大阪：2016年6月3日（金）、4日（土）
東京：2016年6月10日（金）、11日（土）

【白馬セミナー 2016】

■講師：イスラエル・ウェイン氏
マイク・ドネリー弁護士

■日時：2016年11月17日（木）～19日（土）

（2017年コンベンションか白馬には、グレッグ・ハリス氏が来てくださる予定となりました）

た。同じように、天国に一足先に行って、待っていてくれるのかなと思っています」と話してください、僕もそのような歩みがしたいものだと思います。今後も「もちろん、ホームスクーリング続行です！ 将来、自営業でやっていく準備も進められれば」とのことです。ぜひ、お祈りください。

伊澤聡一郎さん家族も、大会1週間前にお母さんを天国に送り、仙台での葬儀等を終えてかけつけられました。お母さんは、イエス様を信じて2年後、6年にわたる入院生活に入られたそうです。聡一郎さんは、天に召される前日、仙台の病院にお見舞いに行くことができ、病室に泊まって「天国はいいところだよ」と、母と子で涙と共にじっくり話すことができたそうです。翌朝、聖書を読み、祈り、眠ったかな……と思ったら、そのまま、天国に召されたとのことでした。葬儀でも、伊澤さんご夫妻、恵美さんのご両親が良き証しをする機会も与えられたそうで、本当にうれしく思いました。

労苦は、主にあってもだではない！ (第一コリント 15：58)

前日までは冷たい雨や時に雷がとどろく悪天候の日々でしたが、その日は青空で、でも暑すぎず、虹も姿を現す、絶好の秋の一日でした。

僕自身には、聖書のことば「あなたがたは自分たちの労苦が、主にあってもだでないことを知っているのですから」(第一コリ 15：58)を体感する一日となりました。4年前、第1回チア・オリンピックの1500mで、ティーンたちに敗れ、日ごろのランニング不足を痛感しました。それをきっかけに、「いただいた人生で、神様の福音を最大限、伝えよう！ もし神様が許されるならば、105歳まで現役で元気に伝道して召されるように！」と走ることに目覚め、練習しました。しかし、第2回目は、朝一番の100m走中、肉離れでリタイア。長距離の練習はしましたが、短距離走の練習をしていませんでした。それで第3回は、1ヶ月ほど前から短距離も練習したのですが、今度はオーバートレーニングで本番1週間前にふくらはぎを痛めました。当日、100m走で「ビシッ」と痛みが来てゴールはしたものの、肉離れリタイア。練



小林里佳さんと3人の子どもたち、長野から参加！
「主人は先に天国に逝って、待っていてくれます！」

習3年目は、トレーニングの仕方等、本やDVDでの研究も進みました。このあたりでは「熱心だけで知識のないのはよくない」(箴言 19：2)がかなり心に染み込んでいました。しかし、夏キャンプのウォーターファイトで足の指を骨折してしまい、藤井一朗チア・オリンピック実行委員長にテーピングしてもらって走りました。でも、100m走中に悪化し、午後の決勝戦等は断念。3年連続、失意の途中リタイアとなり、いつものように企画・運営のバックアップに専心しました。

今年は陸上のトレーニングを始めて満4年、これまでの数々の失敗の教訓を活かすことに心を定めていました。過去3回、肉離れや痛みの悪化となった午前中の100m走予選は、抑えて走り、午後の決勝に残ることだけを目指すことにしました。夏の世界陸上を見ていると、有力選手は予選、準決勝を流して走っていて、それがヒントになりました。またペース配分を考え、以前のように全

種目トップを目指しての全力疾走をやめることにしました。各種目ポイントが得られる2-3位狙いで、100m走、1500m(8位入賞ねらい)、午後の200mや400mらの総合点で、親の部、総合部門でのメダル受賞を、今回のゴールとしたのです。それで朝の100m予選は、決勝に残れる6位以内に入ることを考え、流すことにし、その後の1500mをがんばることにしました。「ペース配分」ということも、3回目のマラソンでの失敗体験から学んだことです。

結果は、目標通り、100mは親Bグループ(40代以上の親)で2位、親Aグループ(30代の親)も含む総合の部では5位で決勝へ、1500mも男子8位入賞で、総合部門へのポイントを重ねることができました。

ところが午後一番の種目でアクシデントが起こります。「痛!」。ソフトボールの遠投をした勢いのまま、僕はグラウンドに倒れこみ、しゃがんで見ていた男の子を踏んでしまわないように、体をよけて回転しながら倒れ、つった足を抱えていました。得意と思っていたソフトボール投げで足がつって、肉離れ一歩手前の痛みが走ったのです。ボールを投げて足がつるなんて、高校時代、甲子

園を目指して360日、野球づけだった僕としては、考えられないことでした。でも考えてみれば、この4年、走る機会は増えましたが、投げる機会はチア・オリンピック以外、ほぼゼロでした。明らかに投げる筋肉は「運動不足」、そのものでした。「また? 4年連続で途中リタイア?」とがっかりしました。

「無理して走れば、また、2-3ヶ月、安静期間になっちゃうのかな?」。藤井実行委員長は、答えてくれました。「冷やして安静がベストですよ。あるいは、この後の200m予選は、かなり様子を見ながら走るか。100m決勝は無理でしょう。ブチッといくのを覚悟して、やぶれかぶれで走るか……ですね」「一昨年みたいに、患部に氷をまいてもらい、冷やしながらか走るならどうだろう?」「同じことですね。意味ないです。冷やして安静がベストです」「肉離れになっちゃうと、2-3ヶ月、走れないよね。次のフルマラソン目指したいし……。200m予選でゆっくりリスタートしてみて、様子を見ようかな……」「まあ、そうですね。安静が一番ですけど、あとは稲葉さんの判断で……」と話しました。

次の種目、200m予選で、おそろおそろ60%ぐ





200m 予選の筆者（中央）。レース前に肉離れの痛みが走る！ 4年連続リタイア？4年間の労苦は、今年も報われないのか……。神様は知恵と力を与えてくれた！

らいでスタートしてみました。なんとか大丈夫でした。100 mあたりから何人か追い越し、ゴール時には80%ぐらいにして、最後、ティーンの走者に抜かれましたが、「予選だし……」とも思って、そのままゆったりゴールしました。親の部門では1位。ケガなく走れて、とても感謝でした。後半、気持ちよく走れましたが、その持久力は、この4年間の練習の成果でもあり、積み重ねを導き、許してくれた神様のお陰です。ハレルヤ！

続く100 m決勝は、藤井さんの警告もあったので、さらに慎重に50%ぐらい、良いフォームで走るだけ考えてスタートしました。痛みが無かったので、途中から加速しました。最後、90%で走って、2位でした。これも感謝。400 mは疲れもピークになっているので、60%でスタートし、250 mぐらいで80%ぐらいにしました。残り100 mで中村義也君（14）に抜かれて、4位ゴールだったけど、でも親部門では1位で、感謝でした。途中、ブチッと肉離れになることを避けてですが、「ゆっくりスタートし、後半伸ばす」という「ビルドアップ」と言われる良いレース展開ができて、ケガもなく、最高に気持ち良かったです。

結果としては、今回の目標であった親の部門で

の総合優勝！ 4年間の失敗と痛みと、神様がくださった訓練と知恵と励ましと忍耐があつてのことだったので、とりわけうれしかったです。「神様が導いてくだされば、105歳、元気に現役伝道のみまで天国へ！」を目指して、4年前に比べて体力がついてきているとも思います。今、53歳で、かつてライオンのような髪ははずいぶん無くなり、老眼にも悩み始めています。でも、この4年のトレーニングのお陰で、持久力やスピード、忍耐する心は年々、進歩していると思います。神様があつての労苦に無駄は無いなと心から思いました。総合部門・親の部の金メダルを手に、「あなたがたは自分たちの労苦が、主にあつてむだでないことを知っているのですから」（第一コリ15:58）を体感する一日となったわけです。

10%の神の声

9月末から10月初旬にかけて、明泉学園やグレープシティ社、丸森の伝道チームの皆さんの理事会、相談会に参加させていただきました。世界13ヶ国ぐらいに拡がっている伝道チームの責任を担っている皆さんら80名余りが参加され、各地の課題等、



ストレートに相談されます。日ごろ、お世話になっている感謝とチアのアップデート等も含め、16年余り、年2回の理事会、相談会に、参加させていただいています。その1週間余りは、いつも、とても勉強になっています。

前に、こうした機会です。今回、「10%の神の声」を復習した気がします。自分の過ち等を指摘されると、どうしても弁明をしがちです。でも、まず素直に謝ること、あれこれ言い訳せず、まず自分にある非を認めることの重要性です。多分、7-8年ぐらい前に、ある方が「10%の神の声」として分かち合ってくれ、ニュースレターやマガジンにも書いたことがあります。90%は誤解や何か事情があつたことでも、10%非があるのであれば、「まずは神の細き声として、自分の非を認め、悔い改め、そして神様から新しい知恵と力をもらって、自分の弱い部分に気をつけ、強化し、新しく行動していく」という知恵です。これは、何か誤解があつた時に、事実を伝えてはならないということではないし、他者に強要したりするとコントロールの問題も出てくる側面もあるので、諸刃の剣の側面もあるとは思いますが。でも聖書の「細い神の声」を聴いての「悔い改め」や「励まし」のメッセージから見ても、自分自身

が頭を垂れる、謙虚さ、賢さという意味で、「10%の神の声」は大事にしていきたい心だと思いました。

悔い改めと神様への問いかけ

2年前、末期ガンということで、全国の皆さんにも祈りの課題としてお伝えし、奇蹟的に回復、退院していたテモテ・ブローマンさんも、相談会に出席されておりました。残念ながら、この1年余りの体調は悪く、最近のガンの数値は、2年前の入院時代よりも高いとのこと。チアの皆さんのことを心から愛し、昨年の白馬セミナーまでは、コンベンションもサマーキャンプも以前のように参加し、応援してくれておりました。リハビリや中国への出張や、主治医や看護師さんたちへの伝道、路傍伝道等も果敢に行っていました。でもこの春以降は、医療関係者への伝道以外は、静養中です。「(テモテ)今はね、日々、悔い改めているよ。神様の大きな計画の中でガンも与えられ、奇蹟的な回復もあった。しかし今、数値が前よりも悪くなった。その中で、自分の中にある罪や、良くないところも示され、そのことを一つ一つ、悔い改めている毎日だよ。同時に、神様がこのことを通して、

何を語ろうとしてくださっているのか教えてくださいと祈る日々だよ。一方で、妻や11人の子どもたちとの時間が与えられていることへの感謝も大きいよ」とのことでした。またチアに来て、元気な姿を見せてくれるように、どうぞ、続けて回復をお祈りください。

星野富弘さんご自宅&富弘美術館で オーディション&コンサート！ CD制作へ！

10月6日、富弘美術館と星野富弘さん・昌子さんご夫妻宅の2ヶ所で、チア・にっぽんのチルミニ賛美を指導してくださっている山川哲平さん・真紀子さんご夫妻と8人の子どもたち&チア・スタッフによるオーディション&コンサートが開催されました。曲は、富弘さんの詩に哲平さんが作曲した4曲。2曲は春のコンベンション東京・大阪会場でチルミニ賛美で子どもたちが歌った「手を伸ばせば届くところ」と「あなたの手の平」です。チアのテーマである「神様・キリスト」と「親子」に関連した詩を選びました。コンベンション後も「子どもたちがずっと歌っています。我が家の朝の聖書の時間のテーマ曲になりました」といった声が多く寄せられる名曲です。さらに素敵な曲、「風に揺れるぺんぺん草」、「いのちより大切なもの」の2曲を加えて、今回、星野富弘さん・昌子さんご夫妻に届けることになりました。

10年目の富弘さんとチアの子どもたち

富弘さんとチアとの出会いは、9年5ヶ月前、よこはま星野富弘「花の詩画展」にさかのぼりま。NHKほか、各メディアが集まるオープニングセレモニーに、富弘さんのカレンダーや絵はがき等を製作・販売し、また、チアの皆さんを創立時から応援くださっているグロリア・アーツの小崎高義社長が招いてくださいました。当日60名余りで出かけ、富弘さん・昌子さん夫妻が喜んでくださり、子どもたちにいろいろと話してくださったり、特別な時間を許してくれました。



2年前、末期ガンから奇蹟の回復を見せた
テモテ・ブローマンさん、ガンの数値が2年前以上に！
妻のドルカスさんと共に

チーム「イエス・キリスト with 三浦綾子さん」として

その後、三浦綾子さんの絵本『したきりすずめのクリスマス』の制作にあたって、富弘さんに特別なお願いをしました。「本について『推薦のことば』を頼まれても、富弘さんはいつも辞退され、今まで1回も書いていないでしょう」と伺ってはいました。でも三浦綾子さんの『したきりすずめのクリスマス』への推薦文は、あえて特別にお願いしたのです。

ケガをして失意のベッドの中にいた富弘さんは、9年という長い入院期間中に『塩狩峠』を読まれ、信仰を持つ大きなきっかけとなっていたことを読んでいました。綾子さんや光世さんが、群馬県東村（当時）のご自宅を、対談とお見舞いのために訪ねた時の感激も、綾子さん、光世さんから直接伺っていました。

僕も『塩狩峠』が信仰を持つために大きく用いられ、また4年間の綾子さんたちへの取材の日々で多くの学びを得たことは、同じでした。それで「チーム・三浦綾子」というか、「チーム・イエス・キリスト with 三浦綾子」ということで、『したきりすずめのクリスマス』の推薦文をお願いしました。そして予想通り、富弘さんは引き受けてくださったのです。

このあたりについて、今月初旬、CGNTV「本の旅」の司会の久米小百合さん（久保田早紀で「異邦人」などがミリオンセラー）が、『したきりすずめのクリスマス』を取材してくださり、詳しく尋ねてくださっています（30分番組でネットで視聴できます。CGNTV「本の旅」、また、チアのHPにもアップしておきます。ご覧ください）。

久米小百合さんが尋ねてくれた 「つづら」と「イエスさまの下駄」の秘密

久米小百合さんは、イエス様がかついだ「つづら」や履いていた「下駄」に注目してくれ、とてもうれしかったです。このあたりのアイデアは、富弘さんが出してくれたのです。

絵本製作中、みなみななみさんや上述の小崎社長らと富弘さん宅に作品案を持っていきました。ななみさんが「つづらって、どんな感じに描けばいいのでしょうか？」と富弘さんに聞くと、詳しく説明してくれました。そして「罪の入ったつづらだから、罪の重さを感じられる描き方がいいよ」とご指導くださり、ななみさんが上手に描き直し、重いつづらとなったのです。とても大事なポイントのご指摘でした。

また、イエス様の「下駄」のアイデアは富弘さ

んの発想です。日本に登場するイエス様だから、日本らしさがあるといいのでは？という、ご提案でした。僕も大賛成でした。絵本では、イエス様が下駄を履いて登場することになりました。

久米小百合さんは「いいですね。その場合は、『私は下駄の鼻緒を結ぶ値打ちもありません……』という感じでしょうか」と、アーティストらしい、クリエイティブな視点とコメントを展開してくれ、とても楽しかったです。

CD制作 — 全国の皆さんとキリストとの架け橋へ 膨らむビジョン

そのように、富弘さん・昌子さんご夫妻との特別な絆を、神さまは与えてくださっていました。今回も、小崎社長から「富弘美術館（これまで来館者は650万人以上）は25周年を迎えます。その記念にチアさんたちも何かしてくれたら、とても盛り上がるのでは……と思う。富弘さんの詩をチアさんの子どもたちのようなみんなが歌ったことは無いから。富弘さん、きっと励まされるんじゃないかなー。そのためには、事前のオーディションとかあるけど、チアさんたちならクリアして、広く展開していくのでは……」と声をかけてもらいました。チアにも山川さんほか、音楽の賜物あふれた皆さんが大勢おられるので、せっかくなら、しっかりした曲にしてもらい、富弘さんたちへのオーディションをパスして、記念の賛美合唱だけでなく、CD化し、全国の皆さんとキリストとの架け橋の一つとなればと構想が膨らみました。

白馬・コンベンションから オーディションへ

1年前の白馬セミナーフィナーレのチルミニ賛美の後に、僕は約400名の参加者の皆さんに尋ねました。「今、『富弘さんの詩を作曲し、チアの子どもたちに、25周年企画イベント等で歌ってもらっては？』とオファーをいただいています。皆さん、どう思いますか？神様に導かれたら、参加する場合は、



CGNTV「本の旅 — したきりすずめのクリスマス」
司会の久米小百合さんと共に（30分番組）
Japan.CGNTV.Net、チアHPで視聴できます！

責任をもって参加くださいますか？」と、「オーディションチャレンジ」の構想を尋ねると、「OK！」とポジティブな反応が返ってきました。山川さんと一緒に詩の選択に入り、曲作りも依頼、そして、大阪・東京コンベンションで約400名の子どもたちが歌ってみました。そして上記の通り「とても良い！」という反応でした。

7月初旬に富弘さん宅でのオーディションを予定して、第一陣、40人余りで何う計画が立てられました。山川さんをお願いして、曲目も「風に揺れるぺんぺん草」、「いのちより大切なもの」の2曲を加えて4曲に増強。しかし前日、「富弘さんの体調が悪いため、残念ながら今回は順延です」との電話が小崎社長から入りました。その時、山川さんファミリー10人は既に高松を出発し、中継地、名古屋に向かう途中でした。翌日、神様の時を待つ高松にUターンすることとなりました。

けんどちようらい
捲土重来で迎えた10月6日（火）、富弘美術館テラスでのパフォーマンスでは、富弘さんと小中せいりゆう高の同級生、聖生清重館長に聞いていただくこ

とが主な目的でした。待っていてくださった聖生館長はもちろんのこと、来館していた皆さんやスタッフの皆さんがぞくぞくと集まってきました。「心が軽くなり、あたたかくなった」「なんか、涙が出てきました」と皆さん、喜んでくださいました。

富弘さん宅にて

そして、富弘さん、昌子さん宅へ。ご自宅の庭先での演奏予定です。最初に昌子さんが出迎えてくれました。「あら、ジョセフ君？ 大きくなったわねー」。すごい、昌子さん、ジョセフのことを覚えてくれている！ きっとマガジンやニュースレター、よく読んでくださっているのだなーと思って、とてもうれしく思いました。

富弘さん登場の前に、音響の準備時間を20分ほどもらっていました。予定時刻よりも30分ほど早く到着し、50分あるから余裕で準備が始められるなーと思っていると、富弘さんが早速、車いすベッ



富弘美術館にて — 山川ファミリー&チア・スタッフ&ジョセフが賛美！

ドで出迎えてくれました。「友達がさっき来てね。うまかったよーって、何度も言ってたんだ。お昼の食事がうまかったのか、美術館でのみんなの演奏がうまかったのか、どっちかなーと思って（笑）」と、ユーモアたっぷりに話してくれます。これも感謝で、神様を讃えました。

先ほどの美術館での演奏に、富弘さんたちの後援団体の「つなぐ会群馬支部」の皆さんが何人か来てくださっていました。富弘さんととても親しく、信頼関係のある身内の友人の皆さんが実際に聞いて、「とてもうまかったよー。すごく感動した！」と、富弘さんに良き感想を伝えてくれているのは、予期せぬ強い援軍です。そうした情報がなく、「どんな曲かな……。チアの曲だから、それなりのクオリティとは思いますが……」と、迎えてくれるのでは、スタートラインが全然違うと思います。「つなぐ会」の皆さんは、文字通り、このプロジェクトと富弘さんたちをつないでくださった天使みたいな役割を果たしてくれて、神様を讃えました。

富弘さんのディレクションで、庭先のステージも完成。さすがアーティストで、どのポジション

で歌ったらいいか、その指示は芸術的で、確かでした。ジョセフが庭の小石を気に入って、4個持ってきて「この小石、もらってもいいかな」と聞くので、「富弘さんに、もらっていいですかと聞いてみなさい」と伝えました。すると、すぐに笑顔で戻ってきて、「この小石、もらっていいですか？って聞いたら、『いいですよ。庭の石、全部、持っていてもいいよ』と言ってくれた！」とのことでした。そんな優しく、面白い富弘さんです。

演奏の前に、コンベンションの時に歌った「チルミニ賛美」のビデオの一部をご夫妻に紹介すると、本当に喜んで見入ってくれました。まだ編集完了前でもあり、「もっと見たい！」というところで、ビデオはカット。そして、富弘さんのお母さんたちも一緒に席に着き、野外演奏会が始まりました。山川ファミリーの8人の子どもたちと、山川さん夫妻、そして、チア・スタッフ&ジョセフでの4曲。富弘さんも、昌子さんも目を輝かせ、優しい笑顔で、時には目を閉じて聞き入り、また時には、穏やかなまなざしと笑顔で子どもたちの歌声を受け取っておられました。富弘さんのお母さんは何度もうなずきながら、めいっぱいの手拍



お母さんも一緒に聞いてくださった！
「神様が たった一度だけ
この腕を動かしてくださると
したら母の肩をたたかせて
もらおう…」
『風に揺れるぺんぺん草』
より



感激する真紀子さん&山川ファミリー
星野富弘さん・昌子さん夫妻、
聖生清重館長らと出会って

子と共に耳と心を傾けてくれました。「友達が来て、うまいよーって言うから、美術館の昼ごはんがうまいのかな、歌がうまいのかな、どっちかな……と思ったけど、やっぱり、歌がうまかったんだねー(^_^)。とつてもさわやかで、すごく良かったよー」。富弘さんの言葉に、緊張気味のみんなも「ワッ！」と笑いました。

その後、富弘さんと二人になった時、「この詩と曲、しっかりレコーディングして、全国の皆さんに届けたいですけど、いかがでしょうか？ もちろん、著作権等、JASRACを通して、正式に展開できるようにして」と伺ってみました。富弘さんは、「いいですよ。とてもいいと思う。どうぞ進めてください」と間髪入れず、答えてくださいました。本当に感謝でした。

後片付けをし、富弘さんの体調に響かないように、急いで帰り支度を進めました。山川さんたちの8人の子どもたちに、話が咲きました。「(真紀子さん) いつも誰かを忘れてきちゃうんじゃないかって心配なんです(笑)」「(昌子さん) そうですよねー」「(富弘さん) ま、我が家も7人で、僕は5番目です。でも、僕らの時代は8人、10人が普通でしたから」「(真紀子さん) そうですよ。先輩でした。我が家は、まだまだですよね」「(富弘さん) しかし、時代も変わったというか。政府も、多様な教育を認めていこうという時代なのだからね。実際、こうした子どもたち、優秀な子どもたち多いんだよね」「(稲葉) ありがとうございます。富弘さんたちの応援のお陰でもあるんです」

富弘さんたちに見送られ、私たちは帰路に着きます。「(稲葉) 哲平さん、一緒にご飯でも食べて行きますか？ 打ち合わせも兼ねて。帰り、急いでいれば、次の機会でもいいし」「(哲平さん) そうですね。名古屋まで行かなければならないのでまっすぐ向かいます」「(稲葉) OK。では気をつけて。今日は本当に良かったよ！」と別れました。ジョセフはお腹ペコペコで、途中のラーメン屋さんに入りました。

オーダーも終わって食べようとしたら、山川さんたちがお店に近づいてきました。「(哲平さん) 子どもたちがお腹すいたって言って。高速に入る直前で、戻ってきました」「(稲葉) すごい再会！

もう別れて20分近く経ってるでしょう？ この

ラーメン屋さんに入ったとは伝えてないし、すごい再会ですね……。そこで、ラーメンを食べながら、今後の打ち合わせがじっくりできました。富弘さんの詩の力、哲平さんの曲、子どもたちの歌声を活かし、コンセプトはチアらしく「伝道・まだイエス様のことを知らない多くの人々のためのCD」です。来年6月までには完成できたら……と祈っています。ぜひ、お祈りのほど、よろしくお願ひします。

4度目の挑戦

旧約聖書のヨアシュ王の失敗のところが示されています。窮地におちいったヨアシュ王は、預言者エリシャに、神様の御心を伺います。

「エリシャは、『矢を取りなさい』と言った。彼が取ると、エリシャはイスラエルの王に、『それで地面を打ちなさい』と言った。すると彼は三回打ったが、それでやめた。神の人は彼に向かい怒って言った。『あなたは、五回、六回、打つべきだった。そうすれば、あなたはアラムを打って、絶ち滅ぼしたことだろう。しかし、今は三度だけアラムを打つことになる。』」(第二列王記 13 : 18)

自分自身の歩みの中途半端さを思います。それでも恵み、応援してくださる神のあわれみを覚えます。願わくは、3回打ってやめないように、5回、6回、打ち続けることができるように……と祈ります。

最近の内閣改造で、これまで座長として「多様な教育機会確保法案」を推進し、私たちと面談を重ねてきた馳浩議員が、文部科学大臣に任命されました。チアと接点を持たれる方が広く用いられていくことはとても良いことと思います。9月に最後に会った時は、「神様の祝福を祈ってます」と言うと、ガッツポーズで答えてくれました。馳大臣はじめ、関係議員の皆さんや政府、文科省、関係者の皆さんの上にも、神様の救い、祝福があるようにお祈りください。

皆さんへのますますの祝福を祈っています。

感謝しつつ

稲葉 寛夫



2015

♪サマーキャンプアンケート♪ Part 2

*****大人*****

●2回目、とても楽しかったです。子どもたちが楽しむだけでなく、親がリフレッシュできたから好き。LITのファンです。最後の日、ホールでの運動会で自分の子どもたちが楽しそうに思いきり体を動かしているのが印象的で、体を動かす喜びをもっと日常（ホームスクールとしても）に取り入れたいと思いました。

（岡山 鳥居ようこ）

●雨の中でも、皆が楽しめるように、アレンジして下さったスタッフのお働きに、心から感謝でした。親子で楽しめるプログラムと、ゆっくり交わることで、大きな励ましが与えられるキャンプでした。とても充実し、楽しかったです。

（東京 赤津めぐみ）

●とてもよかったです。川遊び、もう少し遊びたかったかな？3日目の朝の聖書の時間、ジョ

シュアさんの話、心に残りました。私たち（親）のかかえる弱さの部分を取り扱っていただけるように、祈りました。このキャンプ明けから、再スタート！課題は親の主への態度にあると思わされました。

（東京 平岡真実）

●初参加だったので、全てビックリでした。多くの交わりができて、様々なホームスクールの様子を知ることができて良かった。交わりや、聖書の話などを通して、祈りの答え、主からの語りかけも聞くことができたと思っています。ありがとうございました。

（大阪 今井真理子）

●とても楽しかったです。雨にもかかわらず、すべてのプログラムを行うことができて感謝です。神様の愛する家族と交わりを持てたことを感謝します。この働きがいつまでも続くことを祈っています。

（東京 横田英孝）

●素晴らしかったです。雨でしたが、全く問題を感じず、むしろよりいっそう楽しめました。交

わりタイムがよい励ましと恵みになりました。
(東京 成瀬由紀子)

●初めての参加でしたので、どんなふうに輪に加われるか、その他色々ドキドキしていましたが、そんなことも吹き飛んでしまうくらい楽しく過ごさせていただきました。子どもたちがこの3日で成長したようにも感じています。子どもの笑顔を見ることができ、主に感謝します。主人もそのうち連れて行きたいです…！チャーチスクールには昨年から通っています。ずっと子どもたちを通わせられないと思うので、その時公立に戻すことを考えていますが、ホームスクールも併せて考えてみたくになりました。

(東京 鈴木陽子)

●2年ぶりの家族全員そろっての参加になりました。天気は雨が多かったにもかかわらず、なぜかそれを意識することがないくらい、楽しく充実した3日間でした。なぜ、ホームスクーリングをするのか？という問いに、主が特別に選ばれたから！と感謝にあふれて再び言えるようになる、素晴らしいキャンプですね。普段、主のなさることに文句を言ったり、理屈をこねたりすることの何と多かった自分だろうかと思わされました。遊びもゲームも、実はそんな大人の頭を柔らかくするためにこそ必要なのではないかと思った次第です。大人も本気で楽しめる数々のアイデア（ロデオ、スリップスライドなどなど）に脱帽です。今回はまた長女がLITに参加させていただき、楽しいお交わりのときを持てたことを感謝します。次回もよろしくお願いします。

(東京 佐野章人)

●サマーキャンプでは、稲葉さん、チアスタッフ、明泉の皆様には大変お世話になりました。お陰様で今年のキャンプも神様の祝福を豊かに受けることができました。息子もLITに参加させていただき、感謝で一杯です。今年も主にある兄



弟姉妹との交わりが豊かに祝福されました。互いの徳を高め合い、互いに励まし合う。主に在る親しき交わりは、本当に感謝です。特に明泉の方々の神様に対する姿勢には、いつも頭の下がる思いです。自分を捨て、自分の十字架を負い、キリストについて行く姿は、私たちの良き模範です。子育ては一筋縄ではいきませんが、御霊の働きにより、子どもの心が常にキリストに向かうように育てることの大切さを思わされました。新たな決意で頑張れるように家族共々、とても励まされたキャンプでした。

(東京 亀井正恵)

●今年も、素晴らしいキャンプをありがとうございました。神様の愛が満ち満ちていて、人々に分け隔てや緊張が全くなく、集われた方々が、大きな一つの神様の家族であることを心に深く感じるキャンプでした。とても楽しかったです。

(東京 Aさん)

●今年に参加できて良かったです。沢山の恵み、感謝でした。3日目のゲームもとても楽しかったです。親子で参加できるのがいいですね。のりさんのお宅にお邪魔できて、家の中が綺麗に片付いているのに驚きました。お子さんが沢山いらっしゃるのに、すごいですね。我が家も見習って、もっと娘にお手伝いさせて、親子で片付けや掃除をがんばりたいと思いました。丸森の方々は、質素だけど豊かな感じがしますね。
(神奈川 Bさん)

●丸森チームの皆さんや、ホームスクールのお父さんお母さんの神様を第一とする信仰、お子さんを愛する思いにふれ、感動しました。また、LITの姿にも励ましを受けました。子供達とも夏の遊びを一緒に思いっきり楽しめて、チア・にっぽんの皆様に、本当に感謝です。ありがとう！
(岩手県 Cさん)

*****LIT*****

●めっちゃ楽しかった！！みんなおつかれ様でした。バイバイ (Candace Blanton 15歳)

●Awesome！すごい！
(Eunice Yao 19歳)

●すごくよかったです。いろいろなことを学べて、嬉しいです。むずかしいことも(LITで)ありましたけど、それも喜んでできたことが嬉しかったです。もっと積極的に仕事をできるようになりたいです。すごく皆様が楽しんでいたので、チアの活動は良いなと思いました。
(最上喜子 14歳)

●初のLITで良い時間が過ごせました。めちゃくちゃ楽しかったです。またLITできたらいいな、と思いました。いつもありがとうございます。
(堀井汀 14歳)

●最後の2日間、LIT女子みんなそろって寝坊・遅刻してしまい、スタッフに注意され、「気持ちがゆるんでいたな」と反省する年になってしまい残念でした。来年こそは、もっと気合いを入れて、みんなで力をそろえてやりたいと思っています！
(谷畠しおん 14歳)

●楽しかった。去年までのティーンナイトを復活してもらえたら…！お世話になりました。
(小笠原美希 15歳)





た！！水あそび楽しかったです。バーベキューがうまかった！！また水あそびしたいです。またバーベキュー食べたいです。うんどうかいすごいしゅもくで、すごくいいと思います。

（山崎光基 9歳）

●とても楽しかったです。来年もバーベキューとウォーターファイトとうんどうかいがしたい。

（山崎恵大 11歳）

*****子ども*****

●楽しかった（ミニ運動会と、ウォーターファイトがとくに楽しかった）。あと1日増やしてほしい。
（山下かのか 11歳）

●すごく楽しかった。ロデオをまたやりたい。
（成瀬愛実 11歳）

●とても楽しかった。また水遊びしたいです。
（成瀬恵美 9歳）

●いろいろ楽しめてよかった。
（最上牧人 12歳）

●すごく楽しかったです。すいかがうまかっ

●たのしかったです。みんなとあそんだり、せいしよのお話もおもしろかったです。来年、さらいねんも、メイセンキャンプをつづけてほしいです。
（赤津憐実 9歳）

●今年は、今までで一番楽しくて、終わるのが悲しくて、最後は、泣いてしまいました。
（伊澤慎太郎 9歳）

●ジョセフと遊べて、すごく楽しかったです。滝つぼとウォーターファイトがおもしろかったです。今までで一番面白いキャンプで、最後は泣きました。
（伊澤雄平 7歳）

●馬乗りと川とウォーターファイトとおやつが楽しかったです。
（伊澤真理 3歳）

♪ ボイス & メール ♪ Voice & Mail

◆先月のニュースレターを読んで大変励ましを頂きました。稲葉さんや伊澤さん、美穂さんらが国会議員の皆さんとの話し合いに参加し、ホームスクーラーのため働いてくださっていることを有難く思いました。ホームスクーラーのため闘ってくださっていることを感謝します。続けて多様な普通教育についての法案が、クリスチャンホームスクーラーにとっても良い法案となりますようにお祈り致します。

井澤満美子（千葉）

◆毎回楽しみにしている白馬ですが、状況を伺いました。今回の順延は私達にとっても平安があります。国会・文科省のお働きについては、ニュースレターをキャッチアップするのが精一杯です。稲葉さんたちに任せっぱなしになって申し訳ありません。ホームスクーラーとして祈ることを始め、具体的に何かできることがあればと思っています。日本の政府の判断が間違ったことにならないように今後も祈りたいと思います。来年の白馬はイスラエル・ウェインさんが講師と知り、私達がホームスクールを始めるきっかけとなった方の一人ということで感慨深く、是非参加したいと思っています。

Aさん（東京）

◆苦渋の決断だったかと思いますが、素晴らしいご英断であったとも思います。改めて、今回の国会がどれだけホームスクールの継続・前進に重要なことかを教えられた気がします。私たちも身を引き締めて祈っていかなければいけないですね。励ましを必要として白馬セミナーへの参加を切望していた方も多いと思いますが、神様はいつも私たちの欲しいものではなく、必要なものを最善のタイミングで満たしてください



る方です。すべての皆さんに最善が備えられていますようにお祈りします。国会議事堂はそんなに遠くもないですし、一度近くに行っただけのためにお祈りしたいな、とも思わされています。どこでお祈りしても神様は聞いてくださいますけれど。チアにつぼんの働きがますます祝福されるように、みんなですます国会対策のためにも祈れるように、お祈りしています。

成瀬由紀子（東京）

◆チアの尊い働き、いつも感謝しています。白馬セミナーの順延のメールを頂きました。飛行機のチケットを購入して楽しみにしていたので、正直なところショックでした。実家の母も初参加することになっていたもので…。でも、今私たちが置かれているステージは、そういうことに目を留めるところではないのだなとも思いました。最近は特にホームスクーリングに対して親自身や子供自身の信仰を確認させられることが多いです。今回の白馬の順延も、そのひと

つなのだと思います。子供達の将来に、国や世界の動きが深く関わってくる時代になってきていますね。主の前に低く身をかがめて歩いていこうと思います。” 堅く立って、動かされることなくいつも主のわざに励みなさい。(コリント人への手紙第1 15:58)” 祝福します! 祈っています! 主の平安を送ります!

鈴木ちづる(札幌市)

◆白馬の中止残念です。しかし、このことも神様が用いてくださる道だと確信します。さらに神様の御心を求め続け、あきらめずに進んでください。現在の文科省の動きに対しチアの働きかけは、大きな影響力を持つものと確信します。これからの日本の若者の教育という大切な分野に神様が働いてくださるように祈ります。

田村正幸(群馬・伊勢崎市)

◆白馬セミナー順延の件、お知らせありがとうございました。ご事情など、詳細に分かりました。日本の国内情勢、国際情勢の中、企画運営&マガジン編集など、とてもお忙しい中と思います。皆様のご健康のためにも祈らせていただきます。お働きの一つ一つの上に、主のご栄光が現され、祝福されますように。心身霊ともに、健康が支えられますように。必要な働き人が備えられますように。 成田登・久美(札幌市)

◆白馬セミナー、既に休みを取っていましたが、今年は、家族旅行の日にしますね。感謝。国会の件、ニュースレターを読ませていただきました。不登校生の家庭訪問については、教師として、家庭に入って支援することにためらったことがなく、私も感覚が麻痺していたと痛感しました。まだまだ困難はあるでしょうが、神様から知恵をいただきながら一步一步進めていってください。大丈夫と確信しています。勝利はすでに主のものですから。” 心を尽くして主に抛り頼め。自分の悟りにたよるな。あなたの行く所どこにおいても、主を認めよ。そうすれ

ば、主はあなたの道をまっすぐにされる(箴言3:5,6)”
Bさん(大阪)

◆11月の白馬セミナーを順延されるとのこと承りました。日本のホームスクール、チャーチスクールの啓蒙・普及と充実に対する稲葉様をはじめチア・にっぽんの皆様のお働きに感謝申し上げます。また、多様な教育機会法案に関しましても主の祝福と導きをお祈り致しております。

京都インターナショナルユニバーシティ
/ K I U アカデミー

◆ニュースレター、即、全部読みました!(大事な内容だったので、途中でやめられなくて)神様のわざがどんどん進んでいる感じですね! 法案のために続けて祈りますね。

衣笠葉子(長野)

◆法案の座長であった馳浩議員の入閣、文部科学大臣就任には驚きました。こういうことだったのかと思われました。私達には万軍の主と一緒にいてくださることを改めて示されます。お祈りしています!

Cさん(埼玉)

◆白馬にちょうど重なる日程で毎年仕事が入ってしまっていたので、今年はやっと参加できると思っていました。それで、正直、残念です。が、稲葉さんは今回国会での働きという大きな役割を抱えて大丈夫なのかな?とも心配していたので、正直に状況をご説明いただいて、延期という決断に至ったことをもちろん支持しますし、無理に開催されなくてよかったと思います。また僕達にできることがあればお知らせください。

志賀信泰(東京)

◆今回順延の連絡を受けて…ではありませんが、名古屋近郊のチャーチ、ホームスクーラー



中部地区チャーチ&ホームスクーラーの皆さん

達と連絡を取り、みんなで集まり、交わりのお
 ときを持ちましょうということ呼びかけたところ、
 ほぼ全ての方々が集まりました。これからも
 継続して集まり、ファミリーキャンプや賛美
 集会、スポーツ大会等できたらいいねなんて話
 をしていました。山川家、竹元家、森山家、柿
 本家（友人一人）、山上家、竹之内家、Willson 家、
 計 38 名集まりました。まだ全員ではないです
 が、中部地区にこれだけの励まし合える仲間が
 いることに感謝でした！チアを通してこのよう
 に関わりが持てたのは感謝です。喜びのご報告
 をさせていただきました。ハレルヤ！

山川高平 久子（名古屋）

◆お世話になっています！！法律が変化しよう
 とする中、チアの働きがますます固くたちます
 よう、お祈りしています！今こそ、信仰の武器
 です！！

山崎啓一（山形）

◆ホームスクールは主にあって守られていま
 す。ホームスクーリングを続けているおかげで、
 私自身も聖書通読ができていんだなとしみじ
 み思います。聖書のみことば・チアの書籍・チア
 マガジンに励まされています。引越し後、主人
 は家で仕事ができるようになって、毎日いっし
 ょに息子と過ごすことができます。これっ
 て、本当にすごい神さまの計画だなとしみじみ

思います。

カーランド・明美（テネシー州レノア市）

◆我が家は今夏でホームスクーリング 10 年目
 に突入しました。現在、恵美は高卒認定の残り
 の教科に集中して勉強しています。おかげ様で、
 去年は、明泉学園でインターンとして働かせて
 いただき、精神面でもずいぶんたくましくなっ
 て帰ってきました。伝道チームに加えてもらっ
 ての訓練も良かったです。結実も食事と針灸で
 アレルギー治療をしながらホームスクーリング
 を頑張っています。体の事もあり、恵美のよう
 にフル伝道には無理かもしれないけれど、お姉
 ちゃんの伝道をサポートできる道もあると、一
 応栄養士の資格を目指して、勉強に、習い事に
 がんばっています。自分の思い通りにならな
 くても神様の御心なら…という思いが最近結実
 の中に見られてうれしく思います。

私の母も丸森の皆さんからのトラクトを毎日
 読んでイエス様を信じました。どうぞ確信が与
 えられるようにお祈り下さい。

毎日祈っていた小林さんが召されたとの事。
 でも写真はとてご家族が平安で、喜びました。
 お父さんが天国に召されたさびしさはありますが、
 母にもニュースレターを見せたいと思いま
 す。

片岡郁子（埼玉・狭山市）

救いの証し

昨年、白馬セミナー期間中に洗礼を決意したホームスクーラーの竿代翼君（10歳）。その弟の励君（8歳）が、イエス・キリストを自分の罪からの救い主として信じる決心をされ、その証しを送ってくれました。励君、また、竿代ファミリーへのますますの祝福を祈っています。（竿代ファミリーのホームスクーリングの証しは、チア・マガジン41号に掲載されています）

救いのあかし 竿代 励

僕は、洗礼を受ける前は、イエス様を自分の救い主と信じ、早く洗礼を受けて、神様のこどもになって天国へ行きたいと思っていました。それは、いつイエス様が来るかわからないから、もし今来て自分が地獄へいくのが心配だったからです。つんつん（翼くん）が洗礼を受けた時、家族の中で一人だけイエス様を信じていなかったの、その時は一人だけ置いていかれる気がして、とても悲しかったです。でも、ある日聖書を読んでいたら、「主イエスを信じなさい。そうすればあなたもあなたの家族も救われます」ということばをもらいました。つんつんが救われたから、自分もいつか救われるんだなと思いました。

僕は、ホームスクーラーで、毎日、家で勉強しています。そして毎日、聖書の時間で聖書のことばの暗唱をします。ある日、暗唱の途中につんつんが、僕が聖書を見ていないのに見てると疑って、手で聖書を隠したので僕が怒りました。それで、お父さんに二人は叱られて、お互いに謝りました。それから、2人とも暗唱聖句を覚えて、僕はピアノの練習があるので、ピアノを弾き始めました。

謝ったけれど、まだ怒っていて変な曲をひいたりしていたので、お父さんに注意されました。ピアノの時間が終わって、お父さんに「ごめんなさい」と泣きながら言いに行きました。しばらく泣き続けていて、お父さんが「なんでごめんなさいと言ったの？」と聞いてきました。



「それは、神様がぼくに勇気を与えてくれたから」と言いました。そしてお父さんが「イエス様が、心を罪からきれいにしてくれるために十字架にかかって死んでくれたことを信じますか？」と聞きました。僕は「はい」と言いました。それでお父さんがお祈りして、僕も悔い改めのお祈りをしました。そして、その時に聖書のことばをもらいました。「わたしはぶどうの木で、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人の中にとどまっているなら、そういう人は多くの実を結びます。わたしを離れては、あなたがたは何もすることができないからです。」（ヨハネの福音書15:5）

その後、神様に心が洗われたように心がすっきりしました。ずっと受けたかった洗礼が受けれるようになって心が爆発しそうになりました。これから悪いことをしてごめんなさい、と言わないといけない時に、神様に勇気をもらってごめんなさい、と言いたいです。



ロボコン全国決勝大会 2015 にて

◆ホームスクーリング6年目の長男・愛生（あせい・11歳）が9月20日、ロボコンの全国決勝大会に出場しました。本人も親も、このような展開になることは想像もつかず、驚いています。ロボコンは、小中高生による国際ロボット競技会です。http://www.wroj.org/2015/what_wro/

今回は、夏のロボットクラブの短期教室に、同じ教会の友達とペアチームで（以前チアのコンベンションにも参加したことのある友達）参加したのがきっかけでした。予選会西東京大会小学生部門を1位通過し、西東京代表として臨みました。この夏休みは週に何度もロボット教室に通って改良・調整をしておりました。

全国大会の前日、「あなたがどこへ行くにも、あなたの神、主が共におられるゆえ、恐れてはならない、おののいてはならない。（ヨシュア記 1:9 より）」と祈って送り出しました。結果は、上位進出ならず、18チーム中7位でした。

本人たちも非常に悔しがっていました。私も「おいしいなー」と感じました。でも、神さまからいただいたチャンスを生かす良い訓練の場になったかと思えます。何よりも、主に栄光をお返しできるような結果になればいいと祈っていたので、祈りは答えられたと思えます。そんなロボット一色の明井家の夏でした。神さまが若きホームスクーラー世代にどんな将来を準備されているのかが、ますます楽しみになりました。スタッフの皆さんの健康と祝福をお祈りしております。いつも尊いみなさまのお祈りとお働き、心から感謝します。

明井陵平 淳子（神奈川県大和市）

♪はじめまして♪

仙台の松岡 Family に五男誕生！！
松岡 矢道（しどう）くん
 2015年10月10日（土）



矢道という名前は聖書の言葉から…。

『矢』

子どもたちは主の賜物、胎の実は報酬である。若い時の子らはまさに勇士の手にある『矢』のようだ。幸いなことよ。矢筒をその『矢』で満たしている人は。彼らは、門で敵と語る時にも、恥を見ることがない。

（詩篇 127 : 3-5）

『道』

あなたが右に行くにも左に行くにも、あなたの耳はうしろから「これが『道』だ。これに歩め」と言うことばを聞く。

（イザヤ書 30 : 21）

東京路傍伝道

4年前から、伊勢崎のチャーチ&ホームスクーラーたちのリーダーシップで進められてきた「東京伝道」チーム。これまで、足立区、葛飾区、江戸川区、荒川区と合計100万世帯以上を終え、現在、北区で伝道しています。滅びゆく日本の魂のために、宅配トラクト&聖句プラカード伝道に参加してみませんか。どなたでも大歓迎です。1時間でも参加できる方は、ぜひ、どうぞ！

(事前にご連絡、よろしくお願ひします。)



今後のスケジュール

- 北区伝道
2015年11月23日(月・祝)
(時間帯 10:00～16:00 集合場所:西日暮里駅)
- 正月浅草伝道
2016年1月1日(金・元旦)～3日(日)
(時間帯 12:00～17:00 集合場所:東武浅草駅前)
*どなたでも大歓迎!
参加ご希望の方は事前にご連絡ください。
TEL 080-5682-9726(田村正幸さんまで)
TEL 090-1760-6573
(古郡昌義(フルゴオリ・マサヨシ)さんまで)
e-mail: masayuki@sacra.com



第7回 チア・にっぽん杯 絵画コンクール

<応募要項>

- テーマ: 聖書のストーリーから題材を取り、自分のイメージを絵画にしてください。
- 部門: (1) 幼稚園の部 (2) 小学生の部
(3) 中高生の部 (4) 一般の部
- サイズ: 自由
- 応募方法: 作品の裏に、氏名(フリガナ)、住所、学年、年齢、性別、電話番号、絵のタイトル、その絵を描いた理由(100以内)を書いて、お送り下さい。
- 応募締切: 2016年5月31日(火)
- 送付先: 東京都東村山市栄町1-5-4-103
チア・にっぽん事務局

**コンベンション会場で表彰式が行われます!
作品はコンベンション、キャンプ、白馬セミナー
の会場で展示されます!**

第10回 チア・にっぽん杯 読書感想文大会

<応募要項>

良書を読むこと、感想文を書くことは、神さまの栄光を現す力となります。昨年も15作品の素晴らしい作品の数々が寄せられました。たくさんのご応募、お待ちしております!

- ◆対象作品: チア書籍(どれでもOK)、
あるいは 三浦綾子作品(どれでもOK)、
「ソウル・サーファー」「イエスさまと十字架」「明泉学園の聖書絵本」もOK
- ◆部門: (1) 幼稚園の部(200～600字)
(2) 小学生の部(400～1600字)
(3) 中高生の部(800～2000字)
(4) 一般の部(800～2000字)
- ◆締切: 2016年11月11日(金)
- ◆発表・授賞式: 11月17日(木)
白馬セミナー会場にて
- ◆送り先: チア・にっぽん事務局「読書感想文係」

(※メールでも受け付けています
→ office@cheajapan.com)

★第5回千ア・オリンピック アンケート★

9月19日(土) 気持ちのいい秋晴れの空の下、今年もスカイツリーが見える台東リバーサイドスポーツセンターにて千ア・オリンピックを開催しました♪ 参加された皆さんの感想をお届けします!



*****大人*****

●毎年楽しみにしております。今年も参加できて良かったです。普段、運動不足の娘が一日中走り回って楽しそうでした。帰りの電車は即形で撃沈でしたが(笑)。
(南雲信幸)

●とても感謝で家族全員が力づけられました。前々日、通勤中にバイクで転倒して鎖骨を1本骨折し、どんよりと落ち込んで弱音を吐いていた家長の卓也が、「おかげで元気になった。」と目に光を蘇らせてくれたことが、個人的に一番良かったです。大会全体、真剣さと恵みに満ちたおおらかさが適度にブレンドされて、和やか

な、温かい雰囲気です、すごく良かったです。

(土屋治子)

●楽しかったです。昨年参加した時、「来年は1500mも参加したい」と目標を頂いたのですが、今年は念願の目標を達成することができたので、最高の気分です。又、自分が競技に参加したことで、子ども達に対しても尚一層、その頑張りを共有できたように思います。このような機会を与えて下さり、感謝です。良かったことは、各種目に対して、金、銀、銅とメダルが授与されたことです。息子の創も頂けたのですが、銀メダルをととても大切に触ったり、参加できなかった姉、父に見せている姿を見た時、(言葉で伝える事が苦手な)息子にとっては、形のあるメダルを見せて、喜んでもらっている表情も読み

とれて、良かったなーと思いました。次もメダルに向けて頑張る意欲も頂けました。感謝！

(辻奈央子)

●今回はやや体調不良で見学するつもりでしたが、お父さん方のがんばりに触発されて、午後の競技に参加しました。今日は2日後ですが、いきなり走ったので筋肉痛で苦しんでいます。「輝くためには、まず身体を鍛え上げる必要」を最近感じましたが、改めて具体化した気がします。ありがとうございました。(佐藤哲彰)

●美しい空の下、広いグラウンドでの運動会、最高でした。通常の運動会のような場所取りや混雑がなく、楽しい雰囲気の中、午後にはそよそよと風が吹く中の応援。贅沢な時間だな、と思いました。空を見上げると虹が！神様の祝福を覚えました。チア・オリンピックをきっかけに、この一年かけて、天気が良く体調のいい日はできるだけ、朝約10分、1～1.5kmの距離を走るようにしていました。ジョイランニングです^^。すると、今年初めてメダルを頂き、とても嬉しかったです！帰りの車の中では嬉しくて首にかけっぱなしでした。素敵な朝のジョギングの時間を始めるきっかけを与えていただき感謝です。チア・スタッフの皆さま、藤井さんの、私たちの見えないところにもあったであろう、たくさんのご労苦に心から感謝します！

(堀井ユリ)

●初めて参加させて頂きましたが、娘も私も楽しく参加できました。娘は金メダルがもらえて、とても嬉しそうでした。天候も守られ、大きなケガやトラブルもなく、みんなが楽しむことができた事が良かったと思います。来年も、もし第6回があれば、今度は家族3人で参加したいです。(Aさん)

●本当にありがとうございました。とても楽しく、喜びに満ちた1日となりました。今から来年が楽しみです。みんなが目的をしっかりと受けとめて、自分の栄光ではなく、主のために全力を尽くしていることがよく伝わってきました。とてもすがすがしかったし、心の深いところから喜びがわき上がってくる感じで、次の日もずっと、嬉しい気持ちでした。ティーンが運営の面でサポートしている姿に学ばされました。(また走っている姿もみたいですけどね^^)

(南雲恵理子)

●前日まで雨だったのがすっきり晴れて、神様の祝福を覚えました。皆さんの一心に走っている姿に励まされ、主にある日々の鍛練、喜びのゴールを見つめて歩む大切さ…などなど、ホームスクーリングをしている毎日の煩雑さの中で忘れがちだったことを再確認できました。ティーンの皆さんの目立たない、自発的なご奉仕の集大成として、この楽しいオリンピックが実現





●すごく楽しかったです。来年もぜひたいに参加したいです。チア・オリンピックは、選手も手伝ってみんなで助け合ってやるのがすごくいいと思いました。水泳の大会や自転車の大会もやってほしいです。

(芳賀大祐 15歳)

●今回はチア・オリンピックを開いてくださってありがとうございます。体もしっ

していることを肌で感じました。ホームスクーリングの醍醐味ですね。スタッフの皆さんのご尽力にも感謝します。(佐藤美智子)

かり動かせ、友達とも遊べて楽しかったです。来年も開いて下さい。楽しみにしています。

(佐藤信希 12歳)

*****子ども*****

●とてもおもしろかったです。ありがとうございました。らいねんもあこのことおもいだしてください。あこ 4さい。(南雲愛子)

●ひとりでがんばって走れて、2番になりました。今度は1番になりたいなあとと思いました。あちゃんとたくさん遊べてたのしかったです。

(佐藤謙 4歳)

●楽しかったです。ありがとうございました。100メートル走で銀メダルをもらったのが嬉しかったです。次回は100メートル走、リレー、そして走り幅飛びがしたいです。(辻創 13歳)

●初参加でしたが、とても楽しい時間を過ごすことができました！ありがとうございました。種目が豊富で、大人から子どもまでみんなが楽しめたのが良かったと思います。計測もしっかりしていて、自分の力を知るにはとても役に立ったと思います。

(Bくん 18歳)

●楽しかったです。日常ではあまり運動をしていないので、自分の実力が分かって、目標が持てました。次は1500m走と200m走をやりたいです！(辻のゆり 11歳)

●家族単位で楽しめて良かったです。予選・決勝のトーナメント制があり、とても盛り上がりました。ありがとうございました。(飯島真珠)

第5回 千アにっぽん・オリンピック

各競技の上位記録 ランキング

※予選・決勝合わせての上位記録の集計です。

(単位：秒)

【25m 男女混合 1-3才】

1	伊澤 真理	10.64
2	川邊 実結喜	12.07
3	八束 永音	14.23
4	小塚 みよ	21.07
5	藤本 勇多	25.74

【50m 男子 4-5才】

1	菅野 優人	11.98
2	衣笠 上羽	12.22
3	佐野 レイ	12.46
4	堀井 陽	12.70
5	松岡 正心良	14.16
6	中上 勇治	15.05

【50m 女子 4-5才】

1	八束 真祈	12.96
2	南雲 愛子	13.10
3	植野 らん	13.11
4	豊田 すずか	15.94
5	土屋 はんな	18.88

【100m 男子 5-7才】

1	小塚 新之介	18.07
2	堀井 大使	18.91
3	佐藤 光	21.16
4	伊澤 雄平	21.27
5	土屋 恵輪	22.26

【100m 女子 5-7才】

1	加部 桃子	21.28
2	イ シオン	21.65
3	菊地 しんり	22.94
4	今 琉都	23.64

【100m 男子 8-10才】

1	藤原 佑希也	19.13
2	柁ノイ デバ イデ スティニ	19.42
3	北尾 真徒	19.97
4	関 恵吾	20.21

【100m 女子 8-10才】

1	藤本 心恵	18.12
2	チョン ヨハン	18.54
3	植野 叶恵	18.66
4	小林 恵里奈	19.83
5	佐野 十和子	19.86

【100m 男子 11-13才】

1	亀井 義和喜	14.10
2	辻 創	14.94
3	市川 恵生	17.05

【100m 女子 11-13才】

1	藤本 真利花	14.78
2	チョン ボヨン	15.34
3	チョン キヨン	16.64
4	赤津 愛衣	17.17
5	辻 のゆり	17.92

【100m 男子 14-青年】

1	藤本 峻多	12.90
2	芳賀 大祐	13.13
3	中村 義也	14.23
4	松岡 恵悟	14.64

【100m 女子 14-青年】

1	佐野 まひろ	15.61
2	衣笠 みくに	15.67
3	北尾 乃亜	15.78
4	堀井 汀	16.02

【100m 男子 親】

1	菅野 陽	13.22
2	関 智征	13.96
3	植野 伸一	14.38
4	八束 慰也	14.87
5	稲葉 寛夫	15.04
6	衣笠 健三	15.68

【200m 男子 7-13才】

1	藤原 佑希也	測定できず
2	亀井 義和喜	33.52
3	市川 恵生	38.89
4	柁ノイ デバ イデ スティニ	42.33
5	堀井 大使	44.44

【200m 女子 7-13才】

1	藤本 真利花	33.23
2	チョン ボヨン	33.77
3	チョン キヨン	36.63
4	チョン ヨハン	41.04
5	イ シオン	48.88

【200 m 男子 14- 青年】

1	芳賀 大祐	28.05
2	藤本 峻多	28.26
3	松岡 恵悟	29.52
4	中村 義也	29.55

【200 m 女子 14- 青年】

1	衣笠 みくに	34.11
2	小笠原 美希	34.65
3	堀井 汀	34.93
4	北尾 乃亜	35.10

【200 m 男子 親】

1	稲葉 寛夫	33.77
2	芳賀 信之	35.71
3	佐藤 哲彰	35.80

【400 m 男子 7才以上】

1	芳賀 大祐	1.06.16
2	藤本 峻多	1.08.35
3	中村 義也	1.15.76

【400 m 女子 7才以上】

1	衣笠 みくに	1.24.81
2	藤本 真利花	1.26.65
3	チョン ボヨン	1.27.62
4	堀井 汀	1.30.00

【400 m 男子 親】

1	稲葉 寛夫	1.18.00
2	佐藤 哲彰	1.23.62

【1500 m 男子】 (単位: 分)

1	芳賀 大祐 (15)	5.40
2	藤本 峻多 (15)	5.50
3	衣笠 生 (16)	6.05
4	横田 英孝 (大人)	6.15
5	松岡 恵悟 (15)	6.26

6 佐藤 信希 (12) 6.28

7 中村 義也 (14) 6.32

8 稲葉 寛夫 (大人) 6.44

【1500 m 女子】

1 伊澤 響子 (14) 7.15

2 堀井 ユリ (大人) 7.22

3 衣笠 みくに (14) 7.34

4 チョン キヨン (11) 7.35

5 チョン ヨハン (8) 7.36

6 植野 叶恵 (9) 7.38

7 チョン ボヨン (13) 7.40

8 藤本 道子 (12) 8.29

【走り幅跳び 男子】 (単位: m)

1 松岡 恵悟 (15) 4.10

2 藤本 峻多 (15) 4.05

2 植野 伸一 (大人) 4.05

4 菅野 律哉 (大人) 4.00

4 菅野 陽 (大人) 4.00

6 衣笠 生 (16) 3.30

6 衣笠 健三 (大人) 3.30

8 飯島 修 (大人) 3.20

8 芳賀 大祐 (15) 3.20

【走り幅跳び 女子】

1 加部 綾子 (大人) 3.30

2 衣笠 みくに (14) 2.95

3 堀井 汀 (14) 2.80

4 衣笠 もえ (18) 2.77

5 小笠原 美希 (15) 2.75

6 チョン キヨン (11) 2.65

7 北尾 乃亜 (15) 2.38

8 チョン ボヨン (13) 2.35

※ 1500 m、走り幅跳び、
ジャベリック、ソフトボール
の順位は親子一緒です。

【ソフトボール投げ 男子】

1 井上 成実 (18) 64.10

2 北尾 和也 (大人) 63.40

3 植野 伸一 (大人) 61.70

4 松岡 恵悟 (15) 61.20

5 飯島 修 (大人) 54.40

6 菅野 陽 (大人) 48.70

7 芳賀 信之 (大人) 47.40

8 菅野 律哉 (大人) 47.30

【ソフトボール投げ 女子】

1 小笠原 美希 (15) 26.60

2 菅野 千春 (大人) 22.70

3 衣笠 もえ (18) 22.15

4 衣笠 みくに (14) 19.70

5 飯島 真珠 (17) 19.50

6 堀井 汀 (14) 17.90

7 チョン キヨン (11) 6.55

8 南雲 恵理子 (大人) 6.10

【ジャベリックスロー 男子】

1 植野 伸一 (大人) 26.50

2 松岡 恵悟 (15) 25.30

3 井上 成実 (18) 24.10

4 飯島 修 (大人) 23.40

5 北尾 和也 (大人) 20.40

6 南雲 信幸 (大人) 19.50

7 藤本 峻多 (15) 16.40

8 衣笠 生 (16) 16.20

【ジャベリックスロー 女子】

1 小笠原 美希 (15) 14.50

2 飯島 真珠 (17) 12.60

3 小林 杏奈 (17) 11.80

4 辻 奈央子 (大人) 11.70

5 堀井 汀 (14) 11.10

6 衣笠 みくに (14) 9.85

7 加部 綾子 (大人) 9.50

8 チョン キヨン (11) 9.20

メダリスト (決勝)

種目名	金メダル	銀メダル	銅メダル
25 m (男女混合) 1-3 才	川邊 実結喜	八束 永音	伊澤 真理
50 m (男子) 4-5 才	菅野 優人	佐野 レイ	衣笠 上羽
50 m (女子) 4-5 才	八束 真祈	植野 らん	南雲 愛子
100 m (男子) 5-7 才	小塚 新之介	堀井 大使	佐藤 光
100 m (女子) 5-7 才	イ シオン	加部 桃子	今 琉都
100 m (男子) 8-10 才	藤原 佑希也	杉山 大輔	関 恵吾
100 m (女子) 8-10 才	藤本 心恵	植野 叶恵	チョン ヨハン
100 m (男子) 11-13 才	亀井 義和喜	辻 創	市川 恵生
100 m (女子) 11-13 才	藤本 真利花	チョン ボヨン	チョン キヨン
100 m (男子) 14- 青年	芳賀 大祐	藤本 峻多	中村 義也
100 m (女子) 14- 青年	佐野まひろ / 衣笠みくに		北尾 乃亜
100 m (男子) 親	関 智征	稲葉 寛夫	衣笠 健三
200 m (男子) 7-13 才	藤原 佑希也	亀井 義和喜	市川 恵生
200 m (女子) 7-13 才	藤本 真利花	チョン ボヨン	チョン キヨン
200 m (男子) 14- 青年	芳賀 大祐	藤本 峻多	松岡 恵悟
200 m (女子) 14- 青年	衣笠みくに	小笠原 美希	堀井 汀
200 m (男子) 親	稲葉 寛夫	芳賀 信之	佐藤 哲彰
400 m (男子) 7 才以上	芳賀 大祐	藤本 峻多	中村 義也
400 m (女子) 7 才以上	衣笠みくに	藤本 真利花	チョン ボヨン
400 m (男子) 親	稲葉 寛夫	佐藤 哲彰	
1500 m (男子)	芳賀 大祐	藤本 峻多	衣笠 生
1500 m (女子)	伊澤 響子	堀井 ユリ	衣笠 みくに
走り幅跳び (男子)	松岡 恵悟	藤本 峻多 / 植野 伸一	
走り幅跳び (女子)	加部 綾子	衣笠 みくに	堀井 汀
ソフトボール投げ (男子)	井上 成実	北尾 和也	植野 伸一
ソフトボール投げ (女子)	小笠原 美希	菅野 千春	衣笠 もえ
ジャベリックスロー (男子)	植野 伸一	松岡 恵悟	井上 成実
ジャベリックスロー (女子)	笠原 美希	飯島 真珠	小林 杏奈

● 総合男子 14- 青年

芳賀 大祐 (13)

藤本 峻多 (9.5)

松岡 恵悟 (3)

衣笠 生 (3)

中村 義也 (3)

● 総合女子 14- 親

衣笠 みくに (12)

伊澤 響子 (4)

堀井 ユリ (3.5)

● 総合男子 親

稲葉 寛夫 (8)

関 智征 (3)

横田 英孝 (2.5)

* 総合個人は、100 m、200 m、400 m、1500 mの結果にもとづいています。() はポイント数。

チアオリンピック

☆ Q & A ☆

☆参加者のAさんから質問が届きました☆

★質問★

いつもたくさんの準備をありがとうございます。今年も参加を楽しみにしています。娘(6歳)ですが、幼稚園の年長なので、100mは無理だと思います。年齢からいくと、100mしか選択できませんが、幼稚園生までは体力的に50mが限界と思いますが、それから、昨年参加して思ったのですが、子供は同じレースに年齢幅があるので、勝敗に不利があると子どもが感じていました。出来れば学年別もしくは年齢別だといいと思います。時間の関係上無理なのでしょうか？

+++++

★返信★

ざっくばらんなコメントありがとうございます。とても感謝だし、助かります。

・・・娘(6歳)ですが、幼稚園の年長なので、100mは無理だと思います。年齢からいくと、100mしか

選択できませんが、幼稚園生までは体力的に50mが限界と思いますが。

→そうですね。確かにチア・オリンピックの最初の2年は、50m走をしていた年齢ゾーンですね。文科省の基準でも50mで、それで、そのようにしていました。その後、「ジョイラン」等で、試験的に、幼稚園の年齢層も100mのチャレンジをしてみたのですが、意外と元気に走ってくれました。それで、少しはハードル高いかとは思いますが、チアの企画は、「社会に福音のインパクトを与える実力を養う」一貫として、一般の企画よりも、チャレンジ性の高いものにしようとプランしています。それで、昨年の第4回チア・オリンピックから、5歳以上は、100mとし、5歳は、50mにも両方出られるとした経緯がありました。とはいえ、確かに、6歳児にも、ハードルはちょっと高いかもしれないですね。今回頂いたメールを読ませていただき、確かに幼稚園までは、50mでも兼ねてもいいかなと思い、6歳(幼稚園年代のホームスクーラー)までは、50mと100m、両方を可能とする案もあるかな…とも思いますが、いかがでしょうか？

・・・それから、昨年参加して思ったのですが、子供は同じレースに年齢幅があるので、勝敗に不利があると子どもが感じていました。出来れば学年別もしくは年齢別だいいと思います。時間の関係上無理なのでしょうか？



➡そうですね。確かに差があります。完全に学年別、年齢別制にする案もありますが、今のところ、参加人数の関係で、ちょっとムリが出てくるかな…と思いい、現状のスタイルにしてみました。昨年240名ぐらいの参加で、とても盛況で感謝でした。それでも、男女各学年とすると、学年によっては、全員メダルか、2人とか、3人のレースで予選・決勝を走る学年も出てくる感じかなと思います。ここはホームスクーラーらしく、学年にこだわらず、社会に出たら、年齢差に関わらず、働き、実力を発揮していく現実に向けてのトレーニングであることを、子どもさんたちに伝えるチャンスと捉える機会かなとも思います。

実社会の現実的な側面（年齢差がある人々と一緒に働くこと。時に、年齢差のある人々と競うこともあること）とそれを小さい時から自然に、いろいろな面で体験できている特権を、子どもたちに教えていくチャンスと捉えていく感じかなと思います。また、メダルが無くて、全て感謝し、喜び訓練と、有利になる学年を忍耐して待ち、日ごろのトレーニングを重ねてほしいという意味も含めて、それも良い訓練かなとも思います。学年別としても、4月生まれと3月生まれでは11ヶ月のハンディがあり、そこは、皆さん受け入れておられるかと思います。その幅が、実社会に近い、2・3学年に広がっているという理解でいかがでしょうか。

とはいえ、メダルをもらう喜びは大きいので、年々、学年差を少なくし、メダル数も増やす傾向にし、一人でも多くの子どもたち、親たちがメダルをもらえるようにはしています。今回も160個のメダルが用意され、授与式をテンポよく進める準備もしているところです。そのあたり、不完全ですが、でも、順位よりも、神様に向かって走る目的等を含めて、子どもさんたちに教えて、あえて、ハンディを良しとして、来年や再来年は逆のハンディをもらうことを考えて、今年をエンジョイされては…と思いましたが、いかがでしょうか。一方、そのあたり、同じ気持ちの子どもたちもいると思い、良いコメントを寄せてもらったと思っています。委員会で検討し、今年の変更は難しいかもしれないけれど、今後の改善ポイントとして、話し合ってみたいと思って

いますが、いかがでしょうか。ざっくばらんなご意見は、上記の通り、本当に感謝です。いろいろと感謝です。ますますの祝福を祈っています。感謝しつつ。
稲葉

+++++

ありがとうございます。こちらの質問と要望に対して、懇切丁寧なご返答をいただき恐縮しています。チアの目指すところがよく分かり、なるほど～！と思いました。

目標はイエスさまであり、御国でのイエスさまからの報いですね。娘たちは、競争になるとかなり本気で燃えるタイプのように、時々親の私達も圧倒されてしまうほどです。何事にも一生懸命、決勝点を見定めて取り組めるところは素晴らしいと感じています。だからこそ娘は、100mだよと言われた時、ちょっと今の自分には無理と半ば投げやりな発言をしました。そんな事もあり、提案という事で、メールさせていただいた次第です。本当にありがとうございました。

聖書が教える親の道の本の第2刷出版もありがとうございます！毎晩（できる時は）夫婦で読んでいて恵まれています。
Aさん

+++++

いろいろと感謝です。祝福を祈っています。

稲葉

+++++

来年以降、さらに年齢差の少ないレース、表彰等を進めていければと思っています。また、お母さん方や、日ごろ、走っていない皆さんも参加しやすい800m走や、50m走等を増やし、より広い層の皆さんが楽しみながら鍛えられる工夫をしていこうと思っています。今からご準備ください！ますますの祝福を祈っています。

クリスマスプレゼントに最適!

三浦綾子作品

したきりすずめのクリスマス

★特別ディスカウント★

(2015年12月26日まで)

3冊以上 30%オフ!

5冊以上 35%オフ!

10冊以上 50%オフ!

ノンクリスチャンにも、クリスチャンにも、子どもにも大人にも、贈ると必ず、喜ばれます。みなみななみさんの優しい絵と共に、ストーリー化への賜物にあふれた三浦綾子さんのドキリとする展開の中に、キリストの福音の真髓が心にしみいります。素敵で豪華感もある絵本であり、最高のクリスマスプレゼントです。たくさんの皆さんに、贈っています。

(東京 Aさん)



全カラー80ページ!

本体1,880円+税!

推薦のごとば

三浦光世・星野富弘

絵 みなみななみ



司会者の久米さゆりさんと共に

「本の旅」(CGNTV)にて、「したきりすずめのクリスマス」を収録! 放送時間30分「本の旅326」<http://japan.cgntv.net> または、チアのHP <http://www.cheajapan.com> でご覧下さい。

★したきりすずめのクリスマス 申込書★

FAX 03-6862-8648 メール: office@cheajapan.com

ふりがな
ご氏名

自宅電話:
携帯電話:
メールアドレス:

ご住所(〒)

■絵本 () 冊

※チア発送料は400円(北海道・沖縄は実費)2冊以上のお申込みは、送料無料。

合計 ()

チア・にっぽん カレンダー

- ジョイラン 2016年3月末～4月上旬
- チア・コンベンション2016
 - ・大阪 2016年6月3日(金)、4日(土)
 - ・東京 2016年6月10日(金)、11日(土)
- サマーキャンプ 2016年8月中旬
- チア・オリンピック 2016年9月中旬
- 白馬セミナー 2016年11月17～19日

☆コンベンション講演・分科会 CD・DVD ☆

全70講演を収録したコンベンションDVD、(コンピューター用・mp3版)には、特別講師の講演のパワーポイントデータも入っています。お申込みは、チア事務局へ!
定価 6800円(税込)

発達障害の治療の試み

柏崎良子 / 柏崎久雄 著・A5判・307P
 定価：本体 2,000円＋税

柏崎良子医師のマリア・クリニックにおける治療を、
 症例、検査の意味と意義、治療法、
 発達障害になる原因分析、
 治療の手順など詳細に記載しています。



好評発売中

<本の内容>

- 序文 発達障害や精神障害の治療を願って
- I. 発達障害から良くなった子供たち
 - II. どのように治療をするのか
 - A. 治療の枠組みと方法
 - B. 発達障害についての私たちの立場
 - C. 発達障害の治療への取り組み
 - D. 治療方法の説明
 - III. 治療に必要な知識や理論
 - A. 身体の形成と栄養の補給
 - B. 障害への対応の基礎知識
 - IV. 統計、よくある質問、索引
 - A. 発達障害検査統計
 - B. よくある質問

お問合せ：株式会社ヨーゼフ
 Tel：043-207-6035 Fax：043-207-6036
 メール：info@yozeph.com ホームページ：http://yozeph.com

【7月会計】

収入	
献金	4,018,668
書籍・教科書	87,331
会費	67,000
広告	75,000
DVD/CD、ビデオ等	97,807
その他	13,920
出版プロジェクト	872,532
5,232,258	
支出	
事務局経費	2,096,918
通信運搬費	163,397
交通費	162,630
印刷費他	1,802,398
DVD & 商品仕入費	0
出版プロジェクト	872,532
5,097,875	
残高	134,383
前期繰越	145,766
翌期繰越	280,149

【8月会計】

収入	
献金	2,402,000
書籍・教科書	58,178
会費	61,000
広告	30,000
DVD/CD、ビデオ等	32,181
その他	61,125
2,644,484	
支出	
事務局経費	1,957,041
通信運搬費	88,060
交通費	169,640
印刷費他	402,022
DVD & 商品仕入費	0
出版プロジェクト	0
2,616,763	
残高	27,721
前期繰越	280,149
翌期繰越	307,870

☆尊い献金、会費の送金を、
 心から感謝いたします。



チア・にっぽん事務局

〒189-0013 東京都東村山市栄町1-5-4-103
 TEL 042-318-1807 メール対応 FAX 03-6862-8648
 メール office@cheajapan.com